

what's new デザインイノベーションコンソーシアム設立

EVENT REPORT 同志社ビジネススクールとKRP(株)連携企画スタート



分光光度計に用いる特殊治具  
HILLTOP (株)



種子用真空ピンセット  
(株)積進



超微細3次元細断装置  
(有)シバタシステムサービス



細胞シート切り取りパンチ  
京都試作センター (株)

## 特集

再生医療サポートプラットフォーム  
再生医療現場の  
「欲しい」をかなえる。



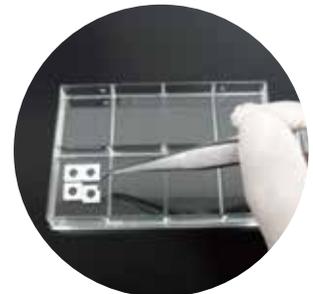
マルチチャンネルアスピレーター  
(株)サンキ



マイキャニスタ  
(有)デコレ



テラヘルツ顕微鏡用圧力容器  
(株)衣川製作所



細胞蛍光染色両面シール  
カジックス (株)

# 再生医療研究の現場ニーズに ビジネスの芽を発掘し つなぎ、育てる。



第13回日本再生医療学会総会にてシンポジウム開催



同学会附設展示会の様子

アベノミクス成長戦略でも重点分野に位置づけられる「再生医療」。大学や研究機関、製品開発型の企業が集結する京都の強みを生かすべく、京都リサーチパーク株式会社(以下KRP(株))開発企画部では「再生医療サポートプラットフォーム」を立ち上げ、新しいビジネスを創り出す取組みを展開しています。それは、再生医療の現場で求められる理化学機器や医療器具、実験装置といったニーズのなかにビジネスの可能性を掘り起こし、モノづくり企業が培った技術シーズとつないで、新しいビジネスを育てていくためのさまざまなサポート活動。その全体像をご紹介します。

## 再生医療サポートプラットフォームの3つの活動



### 再生医療の実現に欠かせない 「再生医療サポートプラットフォーム」活動とKRP(株)の役割

自然治癒力を介した医療である再生医療の実現には、治癒力の基である細胞の増殖、分化能力(細胞力)を高めることが必要不可欠である。この細胞力は細胞自身の性質だけでなく、細胞周辺環境によって大きく影響される。KRP(株)が中心となって進めてきた「再生医療サポートプラットフォーム」活動は、まさに、この細胞周辺環境を作り出し、再生医療支援ビジネスを生み出す原動力である。これまでのKRP(株)の活動、実績はきわめて大きいと信じる。

京都大学 再生医科学研究所 生体材料学分野 田畑 泰彦 教授



情報提供 PR

## 再生医療の最新情報の提供と産業化・事業化に向けたPR活動

再生医療に参入するモノづくり企業のすそ野を広げ、プロジェクト創出を推進するために、再生医療の最新情報を提供する講座や各種セミナーを開催。展示イベントへの共同出展などのPR活動を展開しています。

### 再生医療サポート ビジネス懇話会

第一線の研究者をゲストスピーカーに招き、研究や臨床現場の現状をはじめ、研究開発に必要な器具や装置などの理化学製品や材料、加工技術などのニーズについての話題を提供。京都大学再生医科学研究所の田畑教授を座長に、ラウンドテーブル方式で将来のビジネスにつながる議論を活発に展開していく会員制の懇話会です。参加者もまじえた意見交換やアイデア創出も行い、多くの会員企業が研究者との個別相談や共同研究に繋がっています。



### 学会・展示会への出展・PR

アジア最大のバイオ展「BIOtech」や「日本再生医療学会総会」の附設展示会など、大学研究者や企業・行政関係者などが多く集まる大規模な展示イベントに「再生医療サポートプラットフォーム」として、同プラットフォームに参加するモノづくり企業や支援機関と共同出展。ビジネスチャンスの増加やネットワーク拡大に相乗効果が得られています。



### ビジネスのすそ野を拡大



- ビジネス懇話会
- 解説講座
- シンポジウム
- 集中セミナー
- 企業向けセミナー
- 展示会出展

### 再生医療分野の全体像を見わたせる わかりやすい解説講座

モノづくり企業が医療ビジネスに参入するにあたって最低限必要な、医学・生物学的な基礎知識から臨床現場の実情、研究開発の最新動向や薬事法などの規制関係まで、各分野の第一線で活躍中の専門家がわかりやすく講義。再生医療を中心に関連情報を幅広く提供し、産業化を実現するための事業戦略や開発戦略に役立ててもらおうシリーズ。各専門家とのネットワーク形成の場としても大いに活用されています。



### 対象別ガイドブックの作成

漫画や、写真などを用いて再生医療の基本概念からサポートプラットフォームの活動の実際、研究や医療現場で求められるニーズ、試作事例などについてわかりやすく解説。「モノづくり企業向け」と「研究者向け」の対象別に作成、最新版の「研究者に分かるモノづくりの力」にはこれまでの開発試作案件のまとめを掲載しています。



### 参加企業から

解説講座などで現場との「イメージのずれ」を修正  
ニイガタ株式会社 (KRP 4号館)  
京都営業所 所長 山本 浩司 氏

常に新しいことを探求する研究開発の現場には世に無い道具が必要となります。当社は研究用便利グッズから大型実験装置まで研究者のアイデアから新たなカタチを生み出す会社です。2013年に京都営業所を開設し、これまで培ったものをライフサイエンスへと生かすべく同分野へ参入いたしました。昨年度は再生医療サポートプラットフォーム活動の一環である解説講座や懇話会に参加しました。解説講座では、再生医療の現状から目

指す未来像まで田畑先生のわかりやすい言葉で知ることができ、それと重なるように理化学機器の現状から将来必要とされるモノ・技術までをイメージできました。今後、モノづくりを進めるに当たり再生医療現場との「イメージのズレ」を早期に修正できたことは大きな収穫となりそうです。また学会の附設展示会等への共同出展を通じてKRP地区内の企業と意見交換をするうちに、量産化が見込める製品のコラボ開発が動きだすなど、同プラットフォームを起点としたネットワークの広がりや成果を実感しています。



モノづくり  
サポート

# 研究・医療現場の ニーズを発掘し、モノづくり 企業の試作をサポート

研究や医療現場で求められる理化学機器や医療器具などのニーズの掘り起こしから始まり、ニーズの咀嚼、具体化する為の方法、検討を経て研究者とモノづくり企業とのマッチングを行ない、ニーズの具体化をサポートします。

再生医療・試作サポート活動の仕組み



## 発掘されたニーズの約6割を橋渡し

日々の研究作業で不便や非効率を感じながら、必要な器具や装置の開発をどこにどのように頼めばいいかわからない研究者と、聞き慣れない専門用語や情報の不足からニーズそのものに疎遠になりがちなモノづくり企業を、サポートチームのスタッ

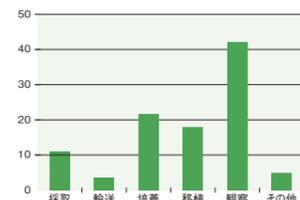
フが橋渡し役となって活動。

必要な技術をもつ企業や既存品の紹介、試作・改良の迅速化などを支援しています。モノづくりサポート活動によって発掘された研究者の現場ニーズは135件(2014年3月1日時点)そのうち試作や改良により納品したものが39件、現在開発中のものが8件、既存品や企業を紹介して対応したものは30件と、6割近くのニーズがモノづくり企業の技術によって試作・改良されました。納品された39件のうち11件が商品化に向けて発展しています。グラフが示すように、試作・改良案件の内訳は、顕微鏡の周辺器具や検体観察に必要な装置など「観察」に関連するものが最も多くなっています。

試作・改良に必要とされた技術

モノづくり企業の技術									
金属加工	樹脂加工	装置製作	材料	繊維加工	電子部品デバイス製造	ソフトウェア	木材工芸	表面処理	ガラス加工
43	39	31	12	5	4	3	2	1	1

研究者のニーズ・アイデアの分類



## 最新試作事例紹介

### 超微細3次元細断装置

依頼元 近畿大学医学部 磯貝 典孝 教授  
企業 有限会社 シバタシステムサービス

軟骨等の生体組織を、凍結せずに超微細3次元細断ができて、生体組織内の細胞や幹細胞ニッチへの細断時のダメージが小さく、100~300ミクロンのキュービック形状に細断出来る装置。誰にでも、短時間に脆弱な生体組織を数百ミクロンの立方体に高精度細断できるようにするため、細断抵抗を極力少なくする必要があり、X方向切断装置と、YZ方向細断を同時にできる装置に改良。



### 遠沈管用ドライサーモリザーバー

依頼元 京都大学 山本 浩司 特定准教授  
企業 株式会社 サンキ

クリーンベンチ内で使用するため、湯煎方式(ウォーターバス方式)ではなく、空気方式(ホットエア方式)に変更し、分注した溶液を簡便に温め、作業中の保温が可能な遠沈管保温装置。使用場所の制限をなくし、利便性と操作性の向上に向け、コンパクトな形状に設計改良。別途、専用アダプターを取付けることにより、1台でさまざまな容量(15ml、50ml)の遠沈管に対応可能な構造に改良。



### 高密度細胞培養システム

依頼元 大阪大学 高木 淳一 教授  
企業 株式会社 洛匠

細胞培養容器をエレベーターで昇降させることにより、培養細胞へのエアレーションと栄養供給、代謝産物(CO<sub>2</sub>)の排出を行う、高密度、大量培養が可能な細胞培養システム。培養の多様性と実験効率の向上をめざし、1装置で4つの細胞培養容器を同時に動かす構造だった物を変更し、1細胞培養容器毎に1つのエレベーター構造として、エレベーター毎に筐体を取り付ける。また、筐体毎に個別動作設定が行えるように制御プログラムもあわせて改良する。



## 現場と企業を橋渡し



事業創出  
プロデュース

# 試作品の商品化・ 事業化までトータルに プロデュース

情報提供・PRやモノづくりサポートのなかから生まれたプロジェクト・テーマを商品や事業につなげるために、さまざまな側面からサポート。公的助成金の活用や、ビジネス成功への政策提言なども行います。

## 事業創出プロデュース



- 個別の事業化プロジェクト・研究開発サポート
- 試作品の商品化・事業化に向けたサポート
- 補助事業・委託事業の実施
- 政策提言

## 事業化成功企業 事例①

### 研究者が着目した試作品を商品化し海外へ進出

有限会社デコレ (KRP スタジオ棟)

無菌操作後や細胞培養中のシャーレが、移動中やインキュベータの開閉時に雑菌で汚染されないように保護するための蓋付き容器を商品化。高性能フィルターを装着させることで密閉性と通気性を共存させました。自社開発した試作品がKRPの再生医療セミナーで講演された大阪大学の紀ノ岡正博教授の目にとまり、教授のもとで数

<マイキャニスタ>

多くの試作・改良を経て商品化。2014年1月から本格的に生産を開始し、国内外で年間1万個の売上げを目指します。本プラットフォームのつながりで紹介いただいた近畿経済産業局の勧めで、この夏には米国へ進出。現地向けのプレスリリースや英語版ウェブサイト・商品カタログなどを制作し、新たな市場開拓へ乗り出します。



シャーレを最大9個収納。素材はオートクレープ滅菌が可能な耐熱性樹脂。



「これから勝負」と取締役社長の田中聡氏(左)と機器開発事業部の假谷道宏氏。

## 事業化成功企業 事例②

### 現場ニーズが自社技術の新境地を拓いて商品に

カジックス株式会社 (KRP 4号館)

再生医療で重要な細胞分化のプロセスを、特殊な抗体や試薬を用いて確認する「細胞蛍光染色法」のためのスポット染色用両面シールを開発し、販売中です。染色に用いる抗体や蛍光試薬類が非常に高価なため、必要な部分だけを染色して試薬類の使用量を大幅に削減するために「培地に貼れるシールを」という現場からの難題で

<細胞蛍光染色両面シール>

した。ニーズに応える形で、当社が培った加工技術をもとに1年半かけて試作を繰り返し、接着細胞培養容器の一部分だけを染色できるシールを完成。商品化にあたっては、KRP(株)のコーディネーターから枚数の設定など販売形態についてアドバイスを頂きました。10の大学研究室に納入。展示会のほかHPからも問い合わせがあります。



1スポットごとに染色できるため試薬使用量が約15分の1に。



「研究者との出会いに感謝」と代表取締役の梶谷隆文氏。

# BIO tech 2014

第13回 国際バイオテクノロジー展/技術会議

日時: 2014年5月14日(水)~16日(金) 会場: 東京ビッグサイト

世界中のライフサイエンス研究機器メーカーや試薬メーカー、バイオベンチャー、研究機関、国・自治体が先端バイオ技術を一堂に出展するアジア最大のバイオ展。KRP(株)からは「再生医療サポートプラットフォーム」として、参加企業や(公財)京都高度技術研究所とともに1ブロックを形成し共同出展します。(5月14日(水)12:20~13:20セミナー開催予定)

## 研究者の欲しいをかなえる

### 理化学・医療機器の開発・製作ネット

- こんな実験装置あったらいいな
- 商品カタログにない器具、どこかに頼めないかな?
- 漠然としたイメージしかないけど、どうにかしたい…!
- そのお悩み解決いたします!



理化学・医療機器の開発・製作ネット 検索

お問い合わせはホームページから <http://saisei-monozukuri.jp/>



Design  
Innovation  
Consortium

# デザインイノベーション コンソーシアム設立

京都大学デザインスクールを中心に、産学官連携によるデザインイノベーションコンソーシアムを設立。専門領域を超えて協働し、社会のシステムやアーキテクチャを変革できる人材を育成。

京都大学デザインスクール(5年一貫博士課程)は産学官連携による人材育成を提案、約40社の参加を得て「デザインイノベーションコンソーシアム」が発足した。本コンソーシアムは、KRP地区9号館に拠点を置くデザインスクールを中心に、学生並びに会員企業・団体のための新たなデザイン教育プログラムを提供する。京都大学の教員・学生と会員企業・団体の場を設けることによって、社会と大学の知の融合により、相互学習・価値創造を推進し、イノベーション創出のための人材を育成する。

2014年3月14日に行われたコンソーシアム設立総会には、参加44組織から100名以上が出席し、規約の制定と役員を選出が行われ、会長にはNTT西日本の大竹相談役、副会長には京都大学の門内教授が選任された。続いて、「イノベーションの作法」と題して、USBメモリをはじめ数々の実績を持つデザイン戦略の第一人者、濱口秀司氏(米Ziba社戦略ディレクター)による記念講演会が開催された。講演会には、会員組織に加えて京



題して、USBメモリをはじめ数々の実績を持つデザイン戦略の第一人者、濱口秀司氏(米Ziba社戦略ディレクター)による記念講演会が開催された。講演会には、会員組織に加えて京

都大学の学生や教員約200名が参加し、熱気溢れる質疑応答が行われた。今後のコンソーシアムの活動としては、米国シリコンバレーを起点とするデザイン思考に基づくワークショップと、京都大学が蓄積した対象領域の専門知識に基づくレクチャーを組み合わせた「デザインセミナー(サービスデザイン、アーバンデザイン、ヘルスケアデザインの計3回)」を予定している。また、異業種の企業会員が集まり社会的ビジネスの創造を目指す「デザインブートキャンプ」を予定している。KRP(株)は会員として、またコンソーシアム事務局として、セミナーやフォーラムの企画・運営に携わり、デザインイノベーションコンソーシアムを核とした新産業創出を目指す。

具体的な 活動内容	<b>デザインセミナー</b> デザイン対象領域の理論を説く講義とデザイン理論を実践するワークショップ	<b>デザインブートキャンプ</b> 会員企業や関連企業が業種・業界横断で対話を行う3日間のワークショップ
	<b>サマーデザインスクール</b> 社会人が学生と一緒に参加し、デザイン学を実践する場	<b>デザインフォーラム</b> 高度なテーマについて海外を含めた専門家による講演会やワークショップ
	<b>オープンイノベーション</b> 参加団体等が抱える諸課題の解決策を参加団体と共にデザインする	



## 中小・ベンチャー企業の 事業創造研究会 第1回開催

同志社ビジネススクールとKRP(株)の連携企画スタート

EVENT  
REPORT

日時:2014年3月19日(水) 18:30~21:00(交流会21:00~)  
会場:KISTIC2階イノベーションルーム  
主催:同志社ビジネススクール、KRP(株)

同志社ビジネススクールとKRP(株)が  
連携し事業創出支援のための研究会発足

同志社大学ビジネススクール(以下DBS)と京都リサーチパーク(以下KRP)が連携し、中小企業の事業創出を支援する「中小・ベンチャー企業の事業創造研究会」を発足した。会には、KRP地区の企業経営者とDBSの学生やOBが参加。教授による最新のMBA(経営に関する修士)プログラムの概要の講義や、参加者同士で実際の経営課題に対する意見交換を行う。また、参加する経営者の課題をケーススタディとして、新事業や



中小ベンチャー企業の事業創造研究会  
会場風景

新市場など新しい活動への取り組みを考える。2015年3月までの期間で開催し、講義は全6回を予定。3月に開催した第1回は52名が参加した。次回以降は、「経営戦略」や「イノベーションマネジメント」、「ベンチャーファイナンス」などのテーマでの講義を予定している。

DBSのMBAプログラムは中小企業とイノベーション分野を手厚くしています。本研究会は、その一端をお示ししつつ、新事業に意欲的なKRP地区の企業の方々とDBSでMBAを取得し第一線で活躍中の修了生およびMBAに挑戦中の在学学生との交流を促します。そこから様々な事業創造の可能性が生まれることを期待しています。



兎玉 俊洋教授  
同志社大学大学院 ビジネス研究科



# KRPeople

KRPeopleはKRPエリアを拠点に活躍するすべての人、その意外な素顔に迫ります。

株式会社リガク  
京都アプリケーションラボラトリ (KISTIC 3階)

X線機器事業部 SBU 大阪薄膜デバイス  
戦略ビジネスユニットマネージャー

## 池下 昭弘氏

大阪市出身。普通科高校卒業。自動車整備士を経て機械設計を志し、独学で設計を勉強。リガクへ入社後、半導体とは異なる分野の設計を担当。4年前から現職。企画立案から開発、コストにいたるまでプロジェクト全体の管理を行う。

独自の分析技術で半導体製造をサポート。

株式会社リガクは、X線分析、熱分析、X線非破壊検査機器の専門メーカーとして半世紀以上を歩んできた会社です。その中で私が属しているSBU大阪薄膜デバイスは半導体関連企業を対象にしている部署で、そこでは半導体向け蛍光X線分析装置を開発しています。さまざまな装置があるわけですが、その中で新しく開発されたX線分析装置を置いて来客へのデモンストレーションやアプリケーション開発を行ってほしいというのが、ここ京都アプリケーションラボラトリの役割です。

ここに置かれている装置は、全反射蛍光X線分析技術を用いて半導体のシリコンウェーハ上の汚染を測るもの。非破壊、非接触で微量な汚染を高感度に分析するもので、この技術がないと半導体の製造ラインが上手く立ち行かないと言っても過言ではありません。分析技術の大半が海外発である中、この手法だけは日本で開発されたもので、現在これを使った装置を作って市場を完全にリードしているのは弊社です。ノウハウがぎっしり詰まっているのです。

「京都」のラボで海外の顧客の心をつかむ。

半導体のシリコンウェーハはどんどん大きくなってきています。このラボに置いている装置は直径450mmのウェーハに対応しようというもので、なにしろ大きい。そのせいで大阪の工場に置く場所がなくなり、外部にラボを開設してそこに置こうとなったわけです(笑)。そんないきさつもありましたが、KRP地区入居の決め手となったのは、やはり地の利と「京都」ブランドですね。私たちの顧客はほとんどが海外の方で、ここなら関空から「はるか」1本で来られて、しかも京都駅から近い。また、「京都」というと海外のお客様から

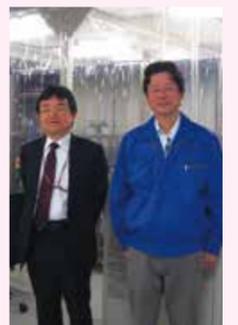
も非常に受けがいいです。「この装置のデモは京都でやります」とご案内をすると、発信力が違いますね。また、高槻市にある大阪工場からのアクセスもいい。現在、こちらのラボでは開発が中心で、デモ業務はこれから本格始動です。1台はすでに納入が決まりましたが、次へ続けと、アメリカなどに積極的に営業を掛けているところですよ。

海外出張も多く、あまり腰を落ち着けてられないのですが、個人的にも京都が好きで、最近は週末になると妻と2人で「晩ごはん食べに行こか」と京都にばかり来ています。やはり世界中から客が来るべくして成り立っている街なので、パフォーマンスが違う気がします。食事の内容、雰囲気などの満足度が高いですね。

定年までの先が見えてきた年齢なので、あともう一つくらい大きな開発のテーマをあげて、軌道に乗せてから後の人にバトンを渡したい。ここでは言えないけれど、動き始めているとあるプロジェクトがあります。日本の半導体業界が元気になるよう、日本発の技術を誇っていきたいですね。

**イチオシ Pick up!**

池下氏(写真左)直属のスタッフは6人。SBU大阪薄膜デバイス主幹技師の河野浩氏(写真右)を始め、5人はアプリケーション開発の部門に所属する。テーマに対して具体的な展開例を提案したり、デモ業務を担うのは、ラボに常駐する彼ら。もちろんスタッフは英語が堪能だ。



Newcomer

新しい入居企業様のご紹介です。

KISTIC棟 3階

株式会社リガク 京都アプリケーションラボラトリ

株式会社リガクはX線回折装置、蛍光X線分析装置、X線CT装置、熱分析装置の製造・販売を行っています。これらの製品は鉄鋼・化学・環境・エネルギー・半導体などの産業において、研究開発から工程管理において幅広く使われています。このたび、京都リサーチパークに半導体アプリケーションラボを開設し、ここを拠点として次世代デバイスで使用される450mmウェーハの評価技術開発とデモ測定を行います。



株式会社リガク  
京都アプリケーションラボラトリ  
代表取締役 志村 晶  
TEL/075-315-8574  
http://www.rigaku.co.jp/  
MAIL/tky-www@rigaku.co.jp  
業種: 機械/装置/器具

# KRP-WEEK 2014開催決定!

イノベーションのヒントを見つけよう。

2014年8月1日(金)~8月10日(日)

主催 : 京都リサーチパーク株式会社  
後援(予定) : 近畿経済産業局、京都府、京都市、京都商工会議所  
開催場所 : KRP内各施設



今年で4回目を迎える「KRP-WEEK」を、2014年8月1日から10日まで開催します。大企業の特許ビジネスマッチングや「オープンソースカンファレンス2014 in Kansai@Kyoto」、同志社ビジネススクール主催のMBA公開講座など今年も続々とイベントやセミナーの開催が決まっています。ぜひ、足をお運びください。

最新情報を随時UP予定! <http://www.krp.co.jp/>

## KRP-WEEKに参加しませんか?

イベントやセミナー開催者を募集中!

- ・昨年は9日間で8,800人が来場した大型イベントです。ぜひPRの場としてもご利用ください。
- ・KRP地区内の企業・団体の方の場合は、会場費を特別価格でご提供いたします。

**お問い合わせ** KRP(株) KRP-WEEK 事務局 TEL / 075-315-9333  
※開催主旨や規模等を確認させていただきます



京都職人工房@京都リサーチパーク

## 展覧会「職人たちのマーチ」開催

3日間で200名が来場し盛況

7月Japan Expo Parisへの出展決定

若手職人の育成を目的に、京都府がKISTIC1階に開設している京都職人工房。2014年3月にメンバー全員による展覧会が開催され、3日間で200名を超える来場者が会場を訪れ盛況を博した。

会場には、繊細な竹工芸のアクセサリやポップなカラーリングの漆塗りカップ、デジタルプリントによる着尺、現代の生活に馴染むデザインの仏具など、伝統を活かしつつ「商品」作りに取り組んできた2年間の成果を発表した。終了後も、商品の販売や新たな取引・協業、海外向けの紹介サイトへの掲載などの打診があり、手応えを感じられる展覧会となった。

また、2014年7月にパリにて開催される「Japan Expo Paris」への出展も決まっている。Japan Expoは、昨年度は4日間の開催で23万人が来場した人気イベントだ。国内のみならず海外も視野に入れる京都職人工房の今後の活動に注目が集まる。



**編集後記** 今回の特集では、再生医療サポートプラットフォームをご紹介しました。参画する企業や支援団体の皆さま、近畿経済産業局、弊社スタッフの熱い思いが詰まった取り組みです。「第13回再生医療学会」の中で開かれたシンポジウム「再生医療サポートビジネス～中小企業の役割～」には約300名の方が集まり、中小企業の再生医療分野参入への関心の高さを感じました。学会当日は、会場で裏方として走り回る弊社スタッフの姿が……。ものづくり企業と研究者の橋渡しをし、ゆくゆくは日本の産業活性化へとつなげたい、そんな思いで日々試行錯誤しながら懸命に取り組んでいます。

配送・停止・変更のご希望は、  
右記内容を明記の上 [krppress@krp.co.jp](mailto:krppress@krp.co.jp)へ

**配送** ① 〒、住所 ② 団体名 ③ 部署名 ④ お名前 ⑤ TEL/FAX ⑥ メールアドレス ⑦ 「配送希望」 ※定期配送も可能です  
**停止** ⑧ ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨ 「配送停止希望」  
**変更** ①~⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.

vol.136  
May  
2014

**KRPRESS** [www.krp.co.jp](http://www.krp.co.jp)

○編集・発行/京都リサーチパーク株式会社 〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町134番地 (ASTEM棟4階)  
TEL: (075) 315-8342 FAX: (075) 322-5348  
○編集長/鈴木 和哉 ○取材・編集・デザイン・制作・印刷/株式会社情通レゾナンス ○配送管理/有限会社セクレタリアット

**KRP News Mail 配信中**

毎月第2・4火曜配信  
<http://www.krp.co.jp/pub/maga.html>